

# 市議会だより



## 建設水道常任委員会 現地調査の様子 (令和2年3月9日)

### (上) し尿受入施設建設予定地(川口)

大館市し尿処理場(松木)は供用開始から35年が経過しており、老朽化に伴い、県の下水道処理場の大館処理センター(川口)内の敷地に移転改築するため、建設予定地を調査しました。下水・し尿・浄化槽汚泥・集排汚泥を下水処理施設と共同で処理し、処理で発生する脱水汚泥を資源化することで、施設建設費・運転管理費の低減と省エネルギーを実現します。

### 大森野住宅(花岡)

花岡地区市営住宅統合建替え事業の進捗状況を調査しました。

## 令和2年3月定例会

主な議案等の審議結果 .....	▶ 2
一般質問 .....	▶ 5
議会報告会 .....	▶ 11
私もひ・と・こ・と .....	▶ 14

# 主な議案等の審議結果

令和2年  
3月定例会

令和2年3月定例会は、2月25日から3月16日までの21日間の会期で開催されました。

市長提出議案は、専決処分の報告1件、条例案26件、単行案1件、予算案39件、人事案6件の合計73件でした。ここでは審議の結果の主なものをお知らせします。



## 条例案

- ・ 大館市部設置条例の一部を改正する条例案
- ・ 大館市田代診療所に関する条例を廃止する条例案

原案可決

他24件

## 単行案

- ・ 財産の無償貸付けについて（土地 字馬喰町48番1の内、外5筆）

原案可決

## 補正予算案

令和元年度大館市一般会計補正予算（第5号）案

<主な内容>

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| ・ JR大館駅周辺整備事業費追加  | 1億3,283万円 |
| ・ ふるさと応援寄附基金積立金追加 | 6億5,251万円 |
| ・ 財政調整基金積立金追加     | 1億7,140万円 |
| ・ 障害者自立支援給付費追加    | 1億2,014万円 |
| ・ 生活保護扶助費追加       | 5,400万円   |
| ・ 渋谷駅観光案内所車両移送費   | 2,000万円   |

以上を含め、歳入歳出予算補正額 14億3,462万8,000円

原案可決

ほか19件

## 当初予算案

原案可決

令和2年度大館市一般会計予算案

<主な内容>

・ 新庁舎建設事業費	35億7,161万円
・ 障害者自立支援給付費	19億9,724万円
・ 県営土地改良事業費	6,088万円
・ 中小企業金融対策事業費	5億7,219万円
・ 市営住宅ストック総合改善事業費	1億1,680万円
・ 防災行政無線デジタル化更新事業費	4,262万円
・ 田代スポーツ公園整備事業費	5,069万円

以上を含め、歳入歳出予算額 365億7,829万9,000円

ほか18件

## 3月定例会に提出された請願・陳情

採 択

【陳 情】

陳情第26号 加齢性難聴者の補聴器購入に対する国の公的補助制度の創設を求める意見書の提出要請について

陳情第27号 加齢性難聴者の補聴器購入に対し、大館市として公的補助を実施するよう求める陳情

不採択

【陳 情】

陳情第28号 イージス・アショアの秋田配備に反対の意思表示を求める陳情

趣旨採択

【陳 情】

陳情第24号 最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める意見書の提出要請について

継続審査

【陳 情】

陳情第25号 公立学校に1年単位の変形労働時間制を導入する条例案に反対する意見書の提出要請について

## 継続審査となっていた請願・陳情

### 採 択

#### 【陳 情】

陳情第16号 秋田市新屋への地上イースイス配備の反対を求める陳情

### 不採択

#### 【陳 情】

陳情第23号 無線基地局建設用地としての利用中止を求める陳情



### 継続審査

#### 【請 願】

請願第3号 秋田犬会館の改修工事への助成について

請願第4号 地域医療を守り、公的病院等の維持・存続を求める意見書の提出要請について

#### 【陳 情】

陳情第6号 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外、国外への移転を民主主義及び日本国憲法に基づき公正に解決させるよう求める意見書の提出要請について

陳情第8号 「沖縄県民は先住民族」との国連の勧告を撤回させることを求める意見書の提出要請について

陳情第9号 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進するよう求める意見書の提出要請について

陳情第10号 臓器移植の環境整備を求める意見書の提出要請について

陳情第13号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出要請について

陳情第17号 医師養成定数を減らす政府方針の見直しを求める意見書の提出要請について

陳情第18号 介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設に関する意見書の提出要請について

陳情第19号 ケアプラン有料化などの制度見直しの中止、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険の抜本的改善を求める意見書の提出要請について

議案第20号 若い人も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書の提出要請について

議案第21号 お金の心配なく、国の責任で安心して暮らせる社会の実現のため、社会保障制度の拡充を求める意見書の提出要請について

## 大館市議会から意見書を提出しました

### 加齢性難聴者の補聴器購入に対する国の公的補助制度の創設を求める意見書

《提出先》 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

## 子育てや地域づくりの拠点について

とがし  
**富樫 孝** 議員（市民の風）



ているが、本市でも各企業に中途採用を働きかけてみては。県外の方々に向けて就職先を斡旋することで、市への移住にもつながると考える。本市の取り組みは。

〔市長〕 国は令和2年度からの3年間、集中支援を行うこととしており、正規雇用者を30万人ふやすことを目標としている。秋田労働局も支援プランの実施に向けた準備会議を開催した。市では平成29年2月に秋田労働局と協定を締結しハローワークと市が連携を図りながら地元企業に対して正規雇用を働きかけていく。

〔市長〕 地域の方々と子育て世帯が触れ合える多世代交流の機会を積極的につくりたい。令和元年12月、女性センター内に「木育ひろば」を開設した。地域住民が集う場所「通いの場」づくりを官民を挙げて進めている。将来的には100カ所にふやす。高齢者だけの居場所としてではなくさまざまな世代が集う場所にした。

### 成人式について

〔市長〕 2年後に成人の年齢が18歳に引き下げられるが、成人を祝う日としては飲酒ができる20歳を過ぎてからのほうがよいと考える。本市では何歳で成人式を行うのか。これまでどおり8月に開催するの。

〔市長〕 令和元年12月に市内の全高校でアンケート調査をした。82%が従来どおりの開催を希望する結果となった。飲酒などができる年齢は20歳からと変わらないことから令和4年度から「20歳を祝う会」として8月15日に開催する。

〔問〕 この世代への支援が行われ

就職氷河期世代のその後について

一般質問の全文は、6月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

## 一般質問

## 大館市の医療体制の希望あふれる今後の展望と地域福祉計画の策定について

おぼた  
**小畑 新一** 議員（公明党）



容の透明性を向上させるべきではないか。

〔市長〕 市民への見える化を図る観点からも有意義であり、透明性向上の方策を早期に検討する。

〔市長〕 市民への見える化を図る観点からも有意義であり、透明性向上の方策を早期に検討する。災害時の要配慮者の方で、在宅で看護されていて、災害時避難行動要支援者名簿に登録していない方がいらっしゃる。そういう方々の安否確認等のために名簿が必要だと思う。個人情報に配慮した条例が必要ではないか。

〔市長〕 名簿に登録されていない方々の災害時の安否確認が行き届かない状況が危惧される。条例制定に向けて規定内容の検討を進める。

〔市長〕 地域福祉計画を策定段階から市民に関心を持ってもらうための仕組みはどのように計画しているか。「福祉の地域づくり」が促進されるような構成になっているか。

〔市長〕 「支え手」「受け手」という関係を超え、社会全体で支え合う地域共生社会の理解を育むためのパネルディスカッションや公開講座などに取り組む。町内会等の地域づくりに関する支援策などを具体的に盛り込み、実行性のある地域福祉計画の策定を目指す。

〔問〕 心臓カテーテル治療を可能とする、地域救命救急センターの開設までのスケジュールを示してほしい。大館市内の医療施設の再編における展望は、単なる病床数の削減だけでなく、医療の機能向上を含めて、市民に示してはどうか。

〔病院事業管理者〕 高度医療機器の整備を令和2年度より進め、令和4年度までに診療体制を整えるように検討している。総合病院は、急性期病床の一部を緩和ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟への転換、心臓カテーテル治療を可能とする地域救命救急センターの設置を検討している。扇田病院は地域包括ケア病棟への転換と訪問医療、訪問看護など在宅医療の充実を目指している。

〔問〕 大館市空き公施設等運用審査会議の委員は、市の幹部職員だけで構成されている。審査会議の委員に、外部有識者を加えて、審議内

## 新型コロナウイルスによる 肺炎の拡大防止対策について

佐々木 公司 議員（令和会）



ユアールを早期に策定し、対応・対策を進める。

〔問〕 カラス被害対応にカラスの専門家による対策の考えは。

〔市長〕 冬ねぐらに変化が生じている。八戸市や他自治体の事例等の情報収集に努め対策を進める。

### ヘリテージマネージャーの 取り組みについて

〔問〕 歴史まちづくりの中で、ヘリテージマネージャー（地域歴史文化遺産保全活用推進員）をどのように活用し、行政面へ生かすのか。

〔市長〕 歴史まちづくりに欠かれない人材。連携してまちづくりに取り組んでいきたい。

### インターネットやゲームの 依存対策は

〔問〕 不登校児童生徒の実態調査によるとインターネットやゲーム依存が原因の一つとされている。依存対策の条理化に、教育現場のあり方は。

〔教育長〕 不登校の児童生徒が平成29年度から急増。インターネットゲーム等へのめり込み、昼夜逆転するなど依存症が疑われるケースも増加。児童生徒への直接指導など手だてを講じてきたが実効性が表れない。今後、条理化に向けて協議する。

※東京オリンピック・パラリンピック延期に伴い、聖火リレーも延期となりました。

〔問〕 有害鳥獣駆除対策について

〔市長〕 県のツキノワグマの推定生息数が過去最多を更新し、県は、熊の捕獲圧を強化するとした。本市の対応策は。

〔市長〕 県の指導のもと、ツキノワグマ市街地等出没時緊急対応マニ

## 一般質問

大館市議会

検索

## 子供たちの安全のために⑦ 116ベクレルもの放射性物質が 検出された小学校の安全対策について

佐藤 芳忠 議員（市民の風）



〔問〕 私はペレット焼却灰に含まれている放射性物質の危険性を訴え続けてきました。7回目の質問です。「放射能を持った放射性物質から放射線が出ます。強い放射線を何度も浴びたり長期間放射線を浴び続けたりすれば人体に悪影響を及ぼします。特に子供は放射線に弱く遺伝子に悪影響を与えと言われています。福島原発事故以前は「100ベクレル以上の放射性物質」は、低レベル放射性廃棄物処理施設での長期保管など、厳格な管理が求められていました。ところが福島原発事故で大量の放射性物質が発生し拡散したため、国

しかし山陰や四国や九州の原発所在地の市町村では、現在も「100ベクレル以上の放射性廃棄物」は、家庭ごみ等と一緒に焼却や埋立てをしていないものです。つまり当市の小学校の「116ベクレルのペレット焼却灰」は、山陰や四国や九州では放射性物質として扱われるのです。そのような危険な放射性物質が校内にあり、放射線を出し続けていた。そして子供達が放射線を浴びていたということは大変なことです。子供達を放射線から守らなくてはなりません。小学校の安全対策について伺います。

〔教育長〕 西館小の116ベクレルに対する見解ですが、焼却・埋立て処分等の処理基準の上限が800ベクレルであることに鑑み、100ベクレルの焼却灰はかなり低いレベルにあると認識しています。また、食品でもない焼却灰の「100ベクレル」は問題ないものと考えています。

〔問〕 800ベクレルというのは特別措置法の基準であり、廃棄物処理法では「100ベクレル以上が放射性物質」とされています。それを100ベクレルは安全だとか言うのは法律を無視した発言です。116ベクレルの放射性物質を軽く見てはいけません。子供達を大切に思うならば放射線を防ぐ対応をお聞きしたい。

〔教育長〕 安全を最優先します。

## エネルギーの地産地消について 大館市の取り組みは

田中 耕太郎 議員（令和会）



〔問〕 全国的にエネルギーの地産地消が増加している。太陽光・バイオマス・廃棄物を活用した発電や、地域・公共施設への熱供給などである。これは、大規模な自然災害への備えや雇用創出、事業収益を通じて地域に利益を還元し地域活性化を目指すものである。また、再生可能エネルギーや廃棄物を活用した発電は、化石燃料を使用しないためCO<sub>2</sub>の排出削減につながり、国が進める地球温暖化対策に貢献することもできる。電力や熱を地域で生産・消費することによって新たな雇用機会の創出につながる。豪雪地帯特有の冬期間の経済効果が期待できる公共施設や民間施設、一般住宅への供給のほか、スポーツ振興策としての花岡総合スポーツ公園多目的プール温水化などの活用が想定されている。豊かな自然とともに快適に暮ら

せる環境共生都市の実現のため、中長期的な視点から市長の考えを伺う。

〔市長〕 太陽光発電は平成25年度から事業者の誘致に取り組み、現在6カ所で約8メガワットの発電事業が行われている。バイオマスの利活用は平成20年度以降、ペレットボイラー10台、ペレットストーブ115台を公共施設に導入、温室効果ガス排出量のさらなる削減を目標に平成30年度から取り組んだ大館市カーボン・マネジメント強化事業の成果に基づき、エネルギーの地産地消の検討を新たなメニューに加えた。災害への備えとして、グリーンニューデール基金事業を実施、公共施設や学校などに太陽光発電施設やLED街路灯などを導入している。花岡総合スポーツ公園のプールの温水化については、エネルギーの地産地消にスポーツの振興を融合させるとい興味深い提案をいただいた。来年度改訂する大館市環境基本計画に盛り込み、課題や市民ニーズを洗い出し、費用対効果などを検証し、中長期的な視点で取り組む。

## 一般質問

一般質問の全文は、6月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

## ひきこもりの居場所の確保を

相馬 エミ子 議員（市民の風）



〔問〕 就職氷河期世代の若者たちは非正規雇用で働かざるを得なかつたため、不安定な中で自信をなくし、結果ひきこもりになっている人が多くいのではないかと推測される。家族が声を上げないと顔が見えず、みずから外に助けを求めることができないため10年以上もひきこもり、気がつくまで親が高齢化し、8050問題として社会問題になっている。筑波大学社会精神保健学教授の斎藤環先生は「孤独死大量発生時代がやってくる」と予測している。ひきこもりの若者たちが安心して過ごせる居場所の確保こそ急務である。

〔市長〕 ひきこもりの人が、自宅以外にも安心して過ごせる居場所づくりは、支援の中でもとても大事なことで認識している。ひきこもりの方の高齢化は8050問題と関連して深刻な問題として捉えている。

本市の福祉に関する総合的な計画として「地域福祉計画」を来年度策定する予定であり、アンケート調査を実施したところである。この調査で得られた悩みや不安を分析し、関係機関の横断的な支援体制を具体的に構築していく。

## 新型コロナウイルス対策は

〔問〕 予防対策を周知徹底させる必要がある。また、体力のない高齢者や持病のある人は感染リスクが高く、命の危険に直結する。本市の高齢者施設への対応について伺う。さらに、感染者が出た場合の総合病院の受け入れ体制は万全か、院内感染対策も含めて伺う。

〔市長〕 高齢者施設では、感染対策マニュアルを作成し万全を尽くしている。小・中学校は19日まで休校とし、卒業式は縮小して実施、児童クラブを利用できない児童のため、学校に居場所を用意し対応することとしている。市立病院では、感染者への対応手順等、対応可能な態勢を整えている。不安解消と感染防止に努めたい。

## 土砂災害防止法に基づく 基礎調査について

あべ ふみお  
阿部 文男 議員（令和会）



2町は人口が減少し、特に商店街の衰退が著しい。行政機関が市の中心部に集中したことで旧役場の機能が縮小され、行政サービスが行き届かなかった結果ではないか。

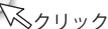
〔市長〕 私が目指す町づくりは、町なかへの一極集中ではなく、市内各地の集落を地域の拠点として位置づけ、人の移動性を高め、人と人をつなぎ、暮らしをつなぐことで人を育て、町を育てていくことである。合併効果の検証については、来年度に予定している新市建設計画の見直しの中で分析していく。

### 道の駅の建設について

〔問〕 私は今までに2度、防災拠点としての道の駅の必要性について提言している。今月、県北地区の道の駅を対象とした「防災機能強化に関する勉強会」が開かれたことで、道の駅の必要性が確立されたと感じている。前向きに検討してほしい。

〔市長〕 国や県、経済界、関係団体とともに大型道の駅の可能性を含め、あらゆる角度から本市の持つ特性や課題の検証などを進め、道の駅を拠点とした防災機能の強化や地域振興に向け、英知を結集していく。

大館市議会

検索 

## 一般質問

## 地域型農業法人での 担い手育成について

いしがき ひろたか  
石垣 博隆 議員（令和会）



〔問〕 大規模地域法人での経営の担い手育成が大きな課題である。行政から支援や対策をお願いしたい。市長の考えは。

〔市長〕 地域農業の将来のあり方を明確にするため「人・農地プラン」を市内16地区で策定し実施化に取り組んでおり、担い手について話し合いを活性化させるなど、関係機関と構成する推進チームが一九となって後継者育成問題に取り組んでいる。

### 新規就農者支援について

〔問〕 農業次世代人材投資事業後、農業経営者として自立できるように5年間の事業期間中に地域や農村・関係機関との協力で営農サポーターが必要と考えるがどうか。

〔市長〕 新規就農者への支援策は、

農業次世代人材投資資金と、県やJA、日本政策金融公庫等と就農定着支援チームを設置し、ニーズに合わせたサポートを行っている。また、先進農家とのマッチングによる技術習得や経営支援、同世代農業者や地域コミュニティとのマッチング、定期的な巡回相談など暮らし面でのサポートを積極的に行っていきたい。

### 多面的機能支払制度の 継続に向けて

〔問〕 制度の持続可能な仕組みづくりが必要である。国に提出する資料の煩雑さや組織の高齢化に伴い、事務作業が大変になっているため、事業を継続していくことが困難な組織がある。事務委託などにより、事務処理作業の負担軽減への対応をすべき。

〔市長〕 本市では77の組織が活動を行っている。多くの組織はみずから事務を行っており、13組織が土地改良区に委託、2組織が個人に委託、残りの62組織はみずから事務を行っている。活動の継続につなげるため、事務委託制度の確立に向け、関係機関と協議を進めていく。

### 〔問〕 平成13年4月施行の土砂災害防止法に基づき雪沢地区で現地調査と説明会が開かれた。災害から住民を守るためにも行政が正しく素早い対応ができるよう市内全域を調査し、住民にきちんと報告すべき。国・県・市で情報交換が素早くできるような仕組みも必要ではないか。

〔市長〕 市では、地域防災計画を定めているほか、民間団体との防災協定、国・県との緊密な連携などにより災害に強い体制を構築している。その上で、市民へ迅速に情報を伝達するため、複数かつ多様な情報伝達手段を組み合わせて行うこととしている。

### 平成の大合併と言われた 編入合併の検証について

〔問〕 田代町と比内町が大館市に編入合併されてから14年たったが、

## 関係人口拡大策について問う

ひかげ けんこ  
日景 賢悟 議員（令和会）



関係人口拡大に努めていく所存。

〔問〕 総務省が行う「地域おこし企業人」の制度を早期に活用すべきではないか。官民協働の時代、首都圏の企業が持つノウハウやネットワークを活用する効果は計り知れない。関係人口の拡大や企業版ふるさと納税にも寄与するはず。

〔市長〕 この制度は、首都圏の企業が持つノウハウや知見と地方への人の流れを創出する上で非常に有効であり、官民協働のビジネスモデルにつなげることが期待できるほか、財政面でも非常に有利な制度であり、実施・導入に向け検討していく。

〔問〕 県人会・同窓会との連携は有効と考える。ふるさと会で、ふるさと納税の冊子を配ったり、交通費の一部を補助する仕組みなど、一歩進んだふるさと会との連携を模索してどうか。また、ふるさと納税してくれた方への感謝祭などはどうか。

〔市長〕 現在も多様な形でふるさと会と大館のつながりを持てる機会の創出に努めているが、今後もフェア獲得のため、さまざまな手法を検討する。

〔問〕 市内の労働力不足について、協議会を立ち上げ、具体的かつ詳細なデータ（季節的・短期的な労働力不足も含めた）を把握する必要があるのでは。未来を見据え、労働力として首都圏の学生やフリーターを呼び込み、市内の企業とマッチングできないか。労働力不足の解消と同時に関係人口拡大にもつながるはず。

〔市長〕 市では、労働力不足が常態化しており、大館・北秋地域雇用対策連絡会議で実態の情報共有を行っている。また、ふるさとワーキングホリデー事業など、さまざまな事業を通じ、首都圏で働く若者のライフスタイルの変化とこだわりを痛感しており、今後、若者の意識を的確に捉えた政策が重要と考えている。首都圏の学生やフリーターのマッチングについても、関係団体と協議を重ね、地元企業の労働力不足解消と

## 一般質問

一般質問の全文は、6月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

## 基幹産業「林業」の

## 活性化について

たむら のりみつ  
田村 儀光 議員（令和会）



〔市長〕 2月末までの来場者が31万人を超え、予想を大幅に上回るスタートとなった。今後は、民間の力を取り入れることにより、交流人口の拡大と地域の活性化につながると確信している。早期の民間運営に向け、精査しながら検討を進める。

## 扇田病院の今後について

〔問〕 今後どのように進めていく考えか。

〔市長〕 病床機能や規模の再検証を進めるとともに、改築移転や市の既存施設の利活用も含め、あらゆる方法を念頭に検討していく。

## 十ノ瀬藤の郷への対応は

〔問〕 田代地域の重要な観光名所である。駐車場問題を含め、どのような支援を考えているのか。市長の考えは。

〔市長〕 路上駐車等の危険な状況は、旧軌道敷の有効な活用を地元や地権者、県と相談する。また、花でつながる観光周遊ルートの構築を進め、特色ある田代地域の資源の情報発信に努める。

## 秋田犬の里の運営について

〔問〕 秋田犬の里は絶対に負の遺産にしてはならない。今後、どのように運営していく考えか。

農業問題について

田村 秀雄 議員（市民の風）



関と進めてもらいたい。

〔市長〕 「秋系821」は令和4年度の市場デビューに向け準備が進められている。今年度は県内各地で試験栽培が行われた。本市での栽培実現に向け関係機関と連携し、検証の実施を働きかけていく。

〔問〕 3月末で田代診療所が閉所するが、多くの高齢患者が送迎車を利用していた。今後の交通の確保は

〔市長〕 現在、送迎車を利用されている方については、近隣病院の送迎サービスをご利用いただくなど、交通手段の確保に努めていく。

〔問〕 山間部では耕作放棄地が増える一方であり、さらに高齢化が進み、担い手不足に陥っている。また、市内では大規模区画整理事業が行われているが、山間部は非常に厳しい実情にあり、区画整理されていないがために集落が崩壊する危険性もある。その対策は。

〔市長〕 本市では農地所有者へのアンケートを実施したほか、作付していない農地や高齢農業者の耕作地等の地図化、地域での話し合い場づくりを進めている。中山間地域などの耕作条件が不利な農地については所有者負担のない「農地中間管理機構」関連「場整備事業」の活用を推進し、耕作条件改善を行っていく。

〔問〕 秋田県新品種「秋系821」は、あきたこまちにかわる秋田県のブランド米になると言われている。県北地区にも作付されるよう関係機

〔問〕 市ではスポーツコミッションに力を入れるため、スポーツ部局と観光部局を一緒にして進めていくとしているが、市民の参加が一番大事である。市民の健康づくりとあわせてどのように進めていくのか。

〔市長〕 民のアイデアやノウハウを生かし、競技大会や合宿の誘致、スポーツツーリズムを推進するほか、スポーツの裾野の拡大を目指す。幅広い事業を展開することにより、スポーツの振興に取り組んでいく。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

要望活動

大館市議会では関係機関への要望活動を行い、地元住民の強い期待と意思を伝えました。

○令和元年7月29日

（東京都千代田区 議長）  
日沿道建設促進秋田県北部  
期成同盟会  
ほか夏期合同要望

○令和元年10月4日

（能代市 議長）  
能代河川国道事務所管内  
期成同盟会等の合同要望会

○令和元年10月7日

（仙台市 議長）  
東北地方整備局  
秋期合同要望活動



令和元年11月14日  
国土交通省  
佐々木国土交通大臣政務官

○令和元年11月14日・15日

（東京都千代田区 議長）  
国土交通省・自由民主党  
本部への要望活動

○令和元年11月21日・22日

（東京都千代田区 議長・副議長）  
秋田県北部市議会連絡  
協議会中央要望活動

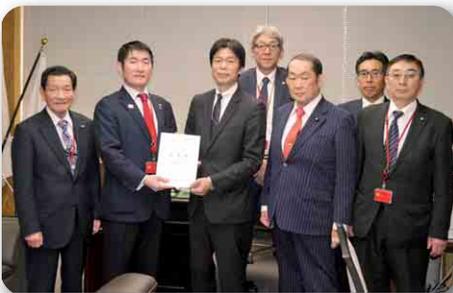
○令和元年12月24日

（秋田市 議長）  
秋田県北部地域  
合同要望活動

○令和2年1月15日・17日

（東京都千代田区 議長・佐藤久勝議員）  
総務省特別交付税  
要望活動

国土交通省大曲鷹巣道路  
整備要望活動



令和2年1月16日  
総務省/黒田総務事務次官

令和元年  
11月開催

# 議会報告会 市に対するご意見 ご要望とその回答

昨年11月に行われた議会報告会における、市に対するご要望等につきまして、市当局から回答が届きましたので掲載いたします。紙面の関係上、回答は一部省略していますが、大館市議会ホームページでは全文を公開しております。

**問** 桂城小学校近くの歩道の草刈りは、年数回やってほしい。

**答** 市道の草刈りにつきましては、道路パトロールなどにより路肩等の雑草の繁茂状況を確認し、各町内のご協力を得ながら、委託業者や職員により随時作業を行っております。ご指摘の歩道は通学路となつている路線の歩道と思われ、年に複数回実施を確認の上、年に複数回実施するなど、優先的に草刈り作業を行いながら、歩行者の安全通行と市道の適正な維持管理に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

**問** 秋田犬の里のロイヤルホテル側から入るスロープに段差がある。直してほしい。

**答** 施設のロイヤルホテル側にある駐車場には段差があり、スロープの設置を検討しましたが、車両の通行に支障を来すおそれがあり、設置を見送った経緯があります。施設の西側駐車場には身障者用駐車場があり、段差がなく入場できることから、そちらをご利用くださるようお願いいたします。

**問** 南小学校などの遊具施設が使用禁止のままになっているがどうか。

**答** 遊具は、毎年実施している点検結果に基づき順次修繕をし

ておりますが、児童の安全に關わるものや緊急を要する修繕などを優先してきたため、すぐに対処できない遊具は修繕が終わるまで使用を禁止しております。中には、使用禁止のまま数年が経過したものもあり、このままでは子供たちの身体や運動能力、集団活動に支障を来すことから、修繕が不可能なものは昨年一旦撤去し、可能なものは新学期からの使用に向けて修繕を実施しているところであります。

南小学校につきましては、使用禁止としていた滑り台が修繕不可能だったため9月に新品と交換し、修繕すれば使用可能な遊具についても修繕を終えており、全ての遊具が使用可能となっております。学校遊具は、心と体の発達や充実した学校生活に欠かせないものであり、学校の要望などを聞き取りした上で計画的に整備を進めるとともに、子供たちの学びを支える教育環境の充実に努めてまいります。

**問** 旧田代町時代、朝昼晩、チャイム、音楽が公民館から流れていた。県民歌、夕焼け小焼けなど、朝7時に鳴り、子供たちに登校を促してくれた。勇気や気力を与えてくれた。このチャイムが合併したら鳴らなくなった。故障したら直してほしかった。これを直してほしい。

**答** 田代公民館のチャイムが故障のまま修理が遅れたため、ご不便をおかけし大変申し訳ありませんでした。昨年9月に地域の皆様に聞き取り調査をしたところ、多くの方々がチャイムの再開を待ち望んでいることがわかり、昨年11月15日に修理を完了したところであります。なお、ご意見をお伺いした中で、午後9時のチャイムは不要ではないかとの声が多かったことから、1日4回放送していた田代公民館のチャイムは、修理完了後は1日3回の放送としております。

**問** 扇田病院の存続について市としてアクションを起こしてほしい。

**答** 扇田病院について、市としては、さきの市議会12月定例会において存続を明言したところです。また、令和2年1月に「大館市病院事業経営戦略会議」を設置し、扇田病院の存続を前提とした病院事業の将来像を協議しております。さらに、県が主催する地域医療構想調整会議では、市として地域の実情や状況を伝え市民が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、扇田病院を含めた医療提供体制の構築等に意見を述べてまいります。

**問** ふれあい公園の荒れ方がひどい。整備してほしい。

**答** 市内の各公園においては、撤去や更新を必要とする遊具が相当数あるため、国の交付金制度を活用しながら、計画的な更新を進めているところであります。扇田ふれあい公園のブランコなどの遊具は、損傷や劣化が著しいため、現在使用を禁止しており、令和2年度に遊具の更新を予定しております。また、園内の草刈りは年3回実施しておりますが、皆様に気持ちよく利用していただけるよう、樹木管理を含めて、園内の環境整備を適切に行つてまいりますので、今後ともお気づきの点があれば、お知らせくださるようお願いいたします。

**問** し尿処理について、生ごみの混入を可能にするデイスポーター方式の導入はできないか。

**答** 市では、市の環境保全条例でデイスポーターを使用しないよう努めなければならない旨を定めており、下水道の供用開始当初から、デイスポーターを使用しないよう指導してきたところであります。デイスポーターには、主に「直投型」と「排水処理システム型」の2つのタイプがあります。「直投型」については生ごみを粒子状に破碎して排水しやすくする装置で、一般家庭

でも導入しやすい方式ですが、粒子状とはいえず生ごみが下水中を流れて未処理のまま終末処理場に到達して処理されるため、終末処理場での負荷が増大し、また、導入件数がふれば下水道の流れを阻害し、管が詰まるリスクが大きくなるため、今後

も設置しないよう指導する考えです。一方の「排水処理システム型」は、生ごみを破碎した後生物処理や沈殿処理、スクリーンやストレーナーにより固形物を取り除いた後の水を流す方式です。日本下水道協会が規格化して認定しているものもあり、東京都など設置を許可している自治体もありますが、設置や維持管理に一定の費用負担が発生

します。市では、これまでディスプレイに関する問い合わせがほとんどなかったこともあり、設置を検討してきませんでした。が、「排水処理システム型」については、合併浄化槽をご利用の方も含め、下水道の終末処理場を管理している秋田県など関係者と協議し、検討してまいりたいと考えております。

**問** 美園町内のごみステーションが老朽化している。補助を出してほしい。

**答** 町内会や自治会などにおいては、高齢化や人口減少による小規模化が進行する中で、地域

運営の主体である町内会などの活動を支援するため「まちづくり団体事業補助金」のメニューに、町内会などによる備品整備に限定した購入費用の補助について、令和2年度から追加を予定しています。補助対象となる備品については、町内会などの活動に係るもので、テント、非常用発電機、ごみステーションの収集庫などとしています。

補助額は、補助対象事業費の2分の1で、上限30万円（下限10万円）としています。補助条件等がありますので、事前にご相談の上、ご活用ください。よろしくお願いいたします。

**問** 美園町の側溝にふたがないところが多い。泉町・中神明町の側溝もふたがない。ふたを設置してほしい。

**答** 市内には側溝にふたのない箇所が多数あります。側溝へのふたの設置は、通学路などを優先的に実施することとしておりますが、ふたを設置できない形状の側溝がある箇所につきましては、側溝の補修計画に組み入れ、ふた付きの側溝を整備していくこととなります。側溝の整備は、重要度や緊急度などを考慮した優先順位に基づき、計画的に実施していくこととしておりますので、ご理解をお願いいたします。

**問** 除雪の仕方が不備。家の前には雪のかたまりを置いていかないでほしい。また、雪のかたまりが家の出入り口にあると大変困る。丁寧な除雪をしてほしい。

**答** 除雪作業では道路上の雪を両側に寄せていきますので、気象条件や雪質、ゆるみによる水分の多い雪がどうしても排除できずに、各家庭の玄関前や車庫前などの間口に雪が残ってしまうことがあります。市では各除雪委託業者に、できるだけ間口に雪が残らない丁寧な除雪作業を行うよう指導を徹底しながら、道路パトロールにより作業後の確認を行ってまいりますので、ご理解をお願いいたします。なお、間口除雪につきましては、町内会や除雪ボランティアなど地域の方々の共助の力もおかりしながら、支援事業も行ってまいりますので、ご活用願います。

**問** 根下戸町内に空き家が7件あるが、空き家対策はどうなっているのか。

**答** ご要望の7件のうち、5件につきましては、空き家調査により把握しており、危険度が低いものと認識しておりますが町内会から相談がありました。特に危険と思われる残る2件の空き家対策につきましては、空き

通知するとともに、電話や面談では空き家解体補助金の活用や空き家バンクによる利活用もあわせて申し入れしております。今後、さらなる通知等によって改善されない場合は「空家等対策計画」に基づいて立ち入り調査を行い、市の「空家等対策検討委員会」及び「空家等対策協議会」を経て「特定空家等」と認定した場合は、所有者への「助言・指導」「勧告」等、順次措置を進めていくこととなります。空家等は、第一義的には個人財産であり、所有者等が自らの責任により適正に管理することが原則です。今後も所有者と連絡を取りながら、解決に向けてまいります。なお、強風等により、緊急に危険を回避する必要がある場合は、空き家条例により応急措置することとしております。

**問** 南バイパスの下り線の歩道の草が伸びて人が歩けない。

**答** この路線は、吹き溜まりが発生する箇所もあるため、定期的な道路パトロールを実施しながら、丁寧な作業を行うよう業者指導を徹底し、通行に支障がないように努めております。南バイパス下の2つの側道のうち、北側につきましては、冬の緊急車両の通行や、周辺道路の交通渋滞の緩和のため、平成26年

度から除雪作業を行っておりますが、費用対効果を考慮し、南側は、冬期は通行止めにして除雪を行っておりません。また、一方通行にできないかとのこと提案につきましては、2つの側道を除雪する必要があります。今後道路パトロールを実施の上、こまめな拡幅除雪などを行いながら、北側の側道1路線での対面通行を継続してまいります。と考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

**問** 新庁舎建設のための市債の返済はどのようになっているのか。

**答** 令和2年度中の完成を予定している新庁舎建設につきましては、これまで積み立ててきた基金を財源に充てるほか、市債として、元利償還金の7割が地方交付税として措置される「合併特例債」を活用することとしており、借入れにおける市費の負担は実質3割となります。また、市債の償還については、20年程度で返済していく予定としており、将来の市の返済額が過大とならないよう、市全体の公共事業費と借入額を適正に管理しながら行財政運営を行ってまいります。

**問** ごみ処理施設から出る副産物の高炉スラグを原料とするレンガ製造計画はその後どうなったのか。

**答** ごみ処理施設（大館クリンセンター）から排出される溶融スラグにつきましては、環境保全と資源の有効活用の観点から、建設用骨材等として利活用するため、秋田県溶融スラグ使用基準を満たすように磨砕や整粒等を施し、製品化しております。製品化された溶融スラグは、市内のアスファルト製造業者へ売却し、アスファルトに混合する砂の代替材として利活用されております。このごみ処理施設につきましては、昨年12月に延命化を図るための改修工事の実施が決定し、あわせて溶融スラグを製造する灰溶融炉を撤去することとしました。このため、溶融スラグの製品化は、本年7月末をもって終了することとなります。灰溶融炉の撤去後は、新たに発電用蒸気ボイラーを導入し、商用電力の低減とCO2の排出削減を図ることとしております。今後とも、市が推進する3R（リデュース、リユース、リサイクル）の普及啓発に努め、廃棄物の削減を進めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

**問** ユップラのボイラーについて、どうしてもタイヤボイラーにしなければならぬのか。もみ殻ペレットなどに交換できないのか。

**答** ユップラのタイヤボイラーは、本年2月に更新を完了し、稼働しています。更新に当たりましては、もみ殻ボイラーやペレットボイラーなど他の4つの熱源と導入や運用に係るコストおよび環境への影響などを比較検討しましたが、もみ殻ボイラーはタイヤボイラーと比較すると熱量が6割程度しか見込めず、年間の燃料費等がもみ殻ボイラーのほうが高い見込みであること、また温室効果ガスの排出量が多いことから、機種選定の対象とならなかったことをご理解願います。

**問** 城西児童公園の遊具が老朽化により使用禁止になっているが、予算等はどうなっているのか。また、トイレが冬期間使用できないのも不便である。

**答** 市では、遊具を所管する関係部署で遊具適正管理検討会を組織して情報を共有し、遊具の取り扱いについて方針を定めながら維持管理や更新、撤去を進めております。ご指摘の城西児童公園の遊具は、令和元年度、国の交付金予算を活用し、「大型ブランコ4人用」1基の改修

工事を発注しております。令和2年も引き続き、使用禁止や老朽化している遊具について、国の交付金制度を活用しながら計画的に更新を進めてまいります。また、城西児童公園のトイレは水洗化しておりますが、冬期間は特に夜間や早朝の利用者が少なく、水道管の凍結による破損の恐れがあることから、凍結防止策として、12月から3月末まで水道管を止水し、閉鎖しております。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

**問** 出雲市をはじめ各地で、死亡手続きの簡素化を図るため「お悔やみコーナー」を設けて1カ所で手続きが全部できるようになっている。当市での導入予定はないか。

**答** 本市では、部署の配置や職員数、内容の専門性など諸条件がある中、休日明けや繁忙期の混雑を避けるため、死亡に関する手続きの専用窓口は設けておりませんが、手続きの簡素化についてはこれまで可能な手続きを集約してきたところであり、市民課以外の課が担当する22種類の手続きについて、市民課で行えるようにしております。今後、さらに集約できる事務を検討するとともに、複数の申請書を統合することで来庁者の記入

の負担を減らすなど、手続きの簡素化を進めてまいります。

**問** 石測と茂内屋敷間の踏切が狭い。残存する警報機を撤去してもらいたい。幅が広がり除雪車両もスムーズに通れ、私たちも安心である。籠谷の踏切も同じ状況なので、こちらも残存する警報機を撤去してほしい。

**答** 小坂鉄道の設備全部を鉄道遺産として残してほしいという要望もあることから、現地の状況を確認した上で、今後の方針について地元町内会や関係者と協議してまいります。

**問** 通勤時間帯前に除雪をやつてほしい。除雪した後の降雪にも対処してほしい。

**答** 除雪作業は午後10時から開始し、通勤や通学に支障がないよう、翌朝6時まで完了するよう除雪業者に指示しております。除雪作業の時間帯が早い地域では、作業後の降雪により通勤等に支障が出る場合もあります。交通に影響があるため、できるだけ日中作業は行わないこととしておりますが、朝方の降雪によって通行に支障がある場合は、日中の除雪作業も適切に実施してまいりますので、ご理解をお願いいたします。

**問** 除雪で、市道が先に終わり、後から県道が除雪されたとき、県道への出口に雪のかたまりが残る。どうにかならないか。

**答** 道路の交差点につきましては、市道、県道にかかわらず、後で除雪を行う作業者に支障がないよう処理することとして、冬期間の前に協議しております。県道の除雪担当と再度調整しながら、関係する除雪業者への指導を徹底してまいります。

**問** 茂内・水沢間の橋の幅を広くしてほしい。

**答** ご要望の水沢橋は昭和46年に架設されて48年が経過しておりますが、幅員が3.5メートルで車両のすれ違いができない状況です。現在、市では橋梁の安全通行などのため、老朽化が進む橋梁から順次補修工事を実施し、長寿命化を進めておりますが、莫大な補修費を要することから、補修が進んでおりません。ご要望の橋梁を拡幅するためには、新しい橋への架け替えが必要ですが、多額の費用を要するため、橋梁の補修を進めている現状では、早期の実現は困難な状況にあります。ご不便をおかけしますが、交互に通行し

# 私もひ・と・こ・と

第39回

いと う まさひこ  
**伊藤 正彦**さん  
(清水町)



## 地球温暖化対策は身近から

今年の7月からレジ袋の有料化が義務化されます。昨年の「容器包装リサイクル法」の省令改正に基づき、深刻な海洋汚染につながるプラスチックごみの排出を抑制するため、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、百貨店でのレジ袋の無料配布が禁じられます。有料化の対象となるのは持ち手のついたプラスチック製買物袋で、価格は小サイズが1〜3円、

大サイズは3〜5円くらいが相場のように、1枚当たりの価格が1円未満になるような設定はできません。それでは、実際どれ位の数のプラスチック製買物袋が使用されているか検証してみましょう。国内では年間約300億枚、幼児を除いた国民一人当たり約300枚。これを大館市に換算すると約2000万枚使用されていることになりました。すでにレジ袋の有料化を実施しているスーパーの実例では、70〜80%の方がレジ袋を辞退するようで、約1500万枚が削減できると予想されます。また、同じプラスチック製品の「指定ゴミ袋」は年間約450万枚使用され、レジ袋の約3倍の重量があると同数くらいの石油原料が使われていることとなります。温暖化対策のためCO<sub>2</sub>削減を考えると、

震災後、メタボ対策にマラソンを。スタイルはもちろん、30年来の花粉症も改善。ガーデニングとゴルフも楽しんでます。

ゴミ袋自体も減らす必要があると思います。その一つの方法として、レジ袋を以前のようにゴミ袋として併用してはどうかと思います。コストが安く、軽くて丈夫、密閉性も高いレジ袋。使用枚数の削減は勿論、その活用法についてもっと議論していただきたいと思います。

昨年行われたCOP25「国連気候変動枠組条約第25回締約国会議」では、SDGs(持続可能な開発目標)の活動が取り上げられました。地球温暖化、海洋プラスチックごみ問題等、私たちができることは何かを皆で考えましょう。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。  
議会事務局までご連絡ください。

## 市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴をご希望される方は、市役所東側(裁判所側)3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、傍聴席に限りがありますので、団体での傍聴ご希望の場合は、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎43-7108(直通)

## 編集後記

暖冬の影響で例年より春の訪れが早く感じられるきょうこのごろですが、ことしに入り、新型コロナウイルスがクルーズ船などを通して今や日本各地に広がり、毎日多数の感染者が発生しており、学校関係者や生徒の親御さんは大変な苦勞をしていると思います。大館市においても学校行事や各種イベントなどを自粛しており、観光、飲食店、宿泊業などへの影響は深刻な問題であると思います。どうか一日も早い終息を願うものであります。



(田村 秀雄 記)